

第59回愛知県公立大学法人評価委員会会議録

1 日 時

令和4年8月23日（火）午前9時56分から午前10時45分まで

2 場 所

愛知県自治センター6階 第602会議室

3 出席者

委員 5人

説明のために出席した者 3人

4 傍聴者

1人

5 議 題

2021年度業務実績に関する評価について

6 議事概要

【2021年度業務実績に関する評価について】

- 原案について、一部修正をして評価結果として決定した。

【質疑】

2021年度業務実績に関する評価について

○ 委員

2021年度業務実績に関する評価結果（案）の記載内容について、最初から確認したいと思います。

まずは、全体評価、2ページです。こちらは、例年通り、全体評価と判断理由が書かれています。全体評価といたしましては、中期計画を順調に実施していると認められるとしており、判断理由としましては、項目別評価の結果を踏まえ、評価したということです。3ページに挙げられていますのは、特筆すべき、高く評価した項目で、評価がⅣになっている項番を抽出していただきまして、前回8月2日の委員会の資料の右側に評価（案）としてまとめていただいたものを、改めて箇条書きでまとめたものです。何かお気づきの点がございましたら、ご意見をいただければと思います。

（意見なし）

全体につきましては、3ページに愛知県立大学、4ページに愛知県立芸術大学の特筆すべき項目を挙げております。5ページに法人運営について記載しており、遅れている項目はなしということです。

2は「評価に当たっての意見、指摘等」ということで、前回の議論を踏まえて2案準備していただいております。（案の1）と（案の2）です。これにつきましては、最後に改めてご意見を伺いたいと思います。

次に、項目別評価に移ります。6ページです。これは、前回のご議論を踏まえて改めて整理したものになります。前年度、議論になりました重点的計画考慮後の合計についても、改めて確認しましたところこういう結果になっております。6ページの（2）については、ア、イはなしで、ウ法人による自己評価と評価委員会の評価が異なる項目として、項番46を挙げております。法人の自己評価が「年度計画を十分に実施している」でございましたが、評価委員会の評価は「年度計画を上回って実施している」といたしました。これは、前回のご議論を踏まえての結果です。これにつきまして、何かご意見はございますでしょうか。

（意見なし）

それでは、8ページ、「財務内容の改善に関する項目」です。Ⅲという評価が2つあって、順調に実施しているという評価結果になっています。こちらにつき

ましては、評価に当たっての意見、指摘等もなしとしております。よろしいでしょうか。

(意見なし)

それでは、9ページ、3の「教育及び研究並びに組織及び運営に対する自己点検・評価及び情報の提供に関する項目」、(1)評価結果は、Ⅲ評価が2つとなっております。従いまして、順調に実施している、A評価としております。評価に当たっての意見、指摘等もなしとしております。よろしいでしょうか。

(意見なし)

それでは、10ページ、「その他業務運営に関する重要項目」、これはⅢ評価が5つということで、これも順調に実施している、A評価としております。こちらも評価に当たっての意見、指摘等もなしとしております。よろしいでしょうか。

(意見なし)

それでは、次の「5教育研究等の質の向上に関する項目」です。11ページをご覧ください。事業の外形的・客観的な進捗状況の確認を行うのがこの評価委員会のミッションです。従いまして、各大学について、いずれも順調にしているということを確認したという評価結果としております。具体的に、先回の評価委員会の議論を踏まえまして、改めて項目別にマトリックスを用意していただいております。よろしいでしょうか。

(意見なし)

それでは、12ページをご覧ください。各大学の教育研究等の質の向上に関する進捗状況について、まず、県立大学です。数値につきましては、前回の評価委員会での審議を踏まえていることを既に確認しております。この業務達成に向けての取組、進捗状況については、(ア)特筆すべき項目で、Ⅳ評価になっているものを取り上げております。項番1、「新教養教育カリキュラムによる5学部連携教育の推進」については、前回の評価委員会資料の右側の評価(案)に書かれているものを、基本的に転記しております。何かお気づきの点はございますでしょうか。

(意見なし)

それでは、次の項番5、「大学院教育におけるコース、カリキュラム等の検証、見直し」につきまして、こちらも、前回の評価委員会資料の右側の評価(案)に書かれているものを、基本的に転記しております。何かお気づきの点はございませんでしょうか。

(意見なし)

それでは、13ページをご覧ください。次の項番19、「外部資金の獲得に向けた取組の推進」も前回の評価委員会の議論を踏まえて、評価案をまとめております。何かお気づきの点はございますでしょうか。

(意見なし)

その次、(イ)の遅れている項目はなしです。(ウ)の「法人による自己点検と評価委員会の判断が異なる項目」として、項番18を入れております。これは前回のご議論を踏まえまして、項番18は「学部・研究科横断型の学際的研究や、産業界・地域社会等との連携による高度で挑戦的な研究を積極的に推進」というものですが、法人の自己点検が「年度計画を十分に実施している」という評価でしたが、評価委員会の判断としまして、「年度計画を上回って実施している」としてしております。この理由としましては、私共の委員会での議論を踏まえたものです。

ご意見等ございますでしょうか。

○ 委員

この点については、少し補足をしておいたほうがよいと思います。2020年度において、項番18は「年度計画を上回って実施している」と評価しておりますので、それを付け加えたほうがよいと思うのです。すなわち、「～研究を促進した。」の後に、「なお、2020年度においても、共同研究を3件採択し、研究を支援したことにより、年度計画を上回って実施したと評価した」と書いておいたほうが、なぜ項番18を「年度計画を上回って実施している」と評価したかが明らかに分かると思うのですが。

○ 委員

ご意見ありがとうございます。追記することを、ご提案いただきましたが、よ

ろしいでしょうか。

(意見なし)

それでは、今の委員からのご意見を踏まえまして、最後の一文の前に追記をするという形で対応させていただきます。

続きまして、同じ13ページ、項番22、「県との意見交換会等を通して、地域課題への対応に向けた取組の推進」についてです。こちらは、法人自己点検の結果では、「年度計画を上回って実施している」と評価されたものですが、私共評価委員会の判断としましては、「年度計画を十分に実施している」と評価することにいたしました。ここも、14ページに理由を前回の委員会でのご議論を踏まえてまとめております。ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

(意見等なし)

それでは、これで確定とさせていただきます。

続きまして、芸術大学に移ります。15ページをご覧ください。ア小項目進捗状況は、前回のご議論を踏まえましてマトリックスに落とし込んだものです。重点的計画については2倍にカウントするというルールに基づいて、計算されております。イ業務達成に向けての取組、進捗状況(ア)特筆すべき項目は、年度計画を上回って実施していると評価されたものです。

項番30、「実技力と芸術性をもつ人材の育成に向けた魅力ある学部教育の推進」についての説明は前回評価委員会の資料の評価(案)でまとめたものです。

項番33、「特色ある教育研究の展開に向けた専攻・カリキュラムの見直しと、FD活動による教育力の向上」も、前回評価委員会のおりとなっております。

続きまして、項番34、「キャンパス安全・利便性向上策の検討・推進と老朽化施設の整備促進」です。ここも、前回評価委員会の資料のとおりです。

続いて、項番40、「研究支援体制の整備、企業との連携強化、外部資金の獲得増に向けた取組」です。ここも、前回評価委員会の資料のとおりです。

(イ)遅れている項目、(ウ)法人による自己点検と評価委員会の判断が異なる項目はなし、ウ進捗状況の確認にあたっての意見、指摘等もなしとさせていただきます。

これ以降は、参考資料として、業務実績評価要領をつけております。

最初に戻りまして、5ページ、全体評価の「評価に当たっての意見、指摘等」で、(案の1)と(案の2)の2案をご用意いただいております。どちらを採用

するか、今からご議論いただきたいと思います。ご意見はいかがでしょうか。

○ 委員

前回の評価委員会で、大学を分けないで全体的にまとめて記載してはどうかと提案させていただきましたが、(案の1)を見てみると、これでは何も分からないなと思いました。

資料原案の事前確認の際、(案の2)を私なりに修正させていただいて、今回の資料としていただきました。(案の2)には、元々研究所のことがいろいろ書いてあったのですが、研究所のことは外部資金の獲得に向けた取組として記載されていますので、コミュニティ通訳学コースのことなども記載したほうが良いと思い、このように修正させていただきました。

○ 委員

ありがとうございます。前回の委員会で委員から、大学を分けないほうがよいのではないかというご意見をいただきましたので、(案の1)をご用意いただいたわけですが、今、委員からやはり各大学の記載があったほうが分かりやすいのではというご意見をいただきました。他の委員の方いかがでしょうか。

○ 委員

(案の2)に賛成です。

○ 委員

ありがとうございます。委員からも、(案の2)に賛成というご意見をいただきました。他の委員の方いかがでしょうか。

○ 委員

(案の2)でよろしいかと思います。(案の1)ですと、やはり具体性がなくなってしまうので。

○ 委員

委員からも、(案の2)にご賛同いただきました。委員、いかがでしょうか。

○ 委員

私も、(案の2)に賛同いたします。芸術大学と県立大学では、学部構成、大学の性質が異なりますので、それぞれの抱えている課題、直面している問題点も異なります。これが、深刻な対立を呼ぶような形で現れているわけではございま

せんが、分けて示したほうが課題がどのように認識されてきたのか、また、今後に向けてもよいかと思えます。

○ 委員

ご意見ありがとうございます。私自身も、各大学の取り組みについて説明があったほうが、私共評価委員会の評価において、どこを評価したのかがより明確になると思えますので、(案の2)に賛同したいと思います。

全員一致で、(案の2)を採用することとさせていただきます。

それでは、何かお気づきの点などございますでしょうか。

(意見なし)

それでは、他にご意見が無いようでしたら、この評価書案をもちまして、評価委員会の評価としたいと思いますますがよろしいでしょうか。

(意見なし)

ありがとうございます。それでは、本日決定した評価につきましてはすみやかに法人へ通知するとともに、知事へ報告いたします。

なお、その際の文言、表現の修正につきましては私と事務局に御一任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 委員

ありがとうございます。それでは本日予定しておりました議題は以上となります。他にご意見がないようでしたら終了したいと思いますますが、よろしいでしょうか。

○ 委員

先程の科研費など、まだ決定されていないものがあります。例えば5月にはまだ決定されていないとして、今の時点では決定されている時の評価の書き方ですが、5月の時点での評価にするのか、変更になったのならばそれを評価に組み入れるのか、どちらにするのでしょうか。評価理由に科研費の数を入れている項番がありましたので、その辺をどうするのかなと思いました。いつの時点の評価時点とするのかを議論できたらと思います。

○ 委員

貴重なご意見ありがとうございます。事務局から何かご意見ございますでしょうか。

○ 事務局

私の率直な、個人的な意見ですが、やはり、評価委員会は3回開催するという
ことで、最初の時点が7月になりますので、その時点では未定であったものも、
3回目には数値が変わってきたり確定したりするものも出てくるかと思えます。
最終評価は3回目の評価委員会で行いますので、その時点での最新数値をもつ
て評価していただくのが、一番適切ではないかと思えます。いかがでしょうか。

○ 委員

それをすると、常に法人と連絡を取って最新情報を手に入れなければならな
くなりますので、事務局の首が締まるのではないのでしょうか。事務局がそういう
覚悟であれば、我々は一切反対はいたしません。

○ 委員

他に、ご意見ございますでしょうか。

(意見なし)

私も、先程事務局がご提案くださったとおり、年3回開催するので、その時々
で情報が更新されると思いますが、あくまで、本日、第3回目の評価委員会をも
って今年度の評価活動のとりまとめの評価を行いますので、本日までの情報は
更新されているべきではないかと思えます。ですので、事務局は大変だと思いま
すし、法人にも、情報の更新があれば科研費に限らずご報告くださいと伝えてい
ただくとよいと思えますが、本日時点の情報をもって決定するという形が望ま
しいと思えます。

○ 委員

最新のものがご用意いただけるのであれば、もちろんそれに越したことはな
いのですが、この時期ですので、更新がしにくいということがあるのではと思う
のですが、よろしいでしょうか。ある部門は最新の数字が提出されたが、別のと
ころは覚束ないとなると、かえって困ってしまいますので、全体が7月の時点
での最新数値だということであれば、それは一つの基準になりますし、もし、8
月の時点での最新の数値ということであれば、全部の数値が最新であることが保

証されているべきだと考えます。

先程事務局が首を絞めることにならないかのご意見がありましたが、大学当局につきましても同じことが言えるかと思えます。そこが問題なければまことに結構だと思います。

ただ、お盆を挟む時期ですので、あまり無理をされないほうがよいかなと思います。

○ 事務局

ありがとうございます。確かにお盆の時期を挟みますので、法人との相談も必要かと思えますが、3回目の時点で最新の数値が出るもの、出ないものがあるかと思えます。やはり、出るもの出ないものあわせて、3回目の時点の最新の数値で整理するという形でさせていただくほうがよいと思えます。その点に関しては、法人のできる範囲で、可能な範囲で最新数値を整理して、提示していただくという形でいかがでしょうか。

○ 委員

本日の資料の16ページ、項番40の3段落目の3行目、「うち採択件数は12件、結果待ち1件」のところについて、2021年度でなぜ「結果待ち」になるのか、おかしいように思います。

○ 委員

私が推測するに、申請したのは2021年度、しかし、採択の発表は今年度なのだと思います。科研費も申請するのは今、ちょうど公募の時期ですので準備されているかと思えますが、発表されるのは翌年度になります。

ただ、先程の委員からのご懸念の点ですけれども、我々は昨年度の活動について評価を行っていますので、大方の数値は既に確定しており、ペンディングになっているものは非常に少ないと思えます。先程資料をお示しいただいた科研費の新規採択率だけは年度をまたいで採択の結果が通知されますので、結果待ちということがあるかと思えますが、それにしても、「結果待ち5件を含む」となっている箇所は、もうそろそろ発表されているのではないかと思えますので、ご確認いただけるとよろしいと思えます。

○ 委員

分かりました。

○ 事務局

かしこまりました。

○ 委員

他によろしいでしょうか。

(意見なし)

ありがとうございます。それでは、評価委員会をこれにて終了いたします。長時間にわたりまして、委員会の円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。

以上

会議録署名人

会議録署名人